

英語による科学の講義

9月8日（土）10：00～12：00に本校新三丘会館において、
鈴鹿工業高等専門学校材料工学科科長・兼松秀行教授を講師にお迎えし、
1・2年生の希望者30名に対して講座を開催しました。

「バイオフィームの話―世界に向けての一つの研究技術の発信―」という内容で、英語でお話をしていただき、ある程度進んだところで日本語に通訳していただくということを繰り返して講義をしていただきました。地球上の至る所に太古から存在する細菌によって作り出されるバイオフィームは、1970年代の半ばに提唱された概念であり、細菌学に大きな革新をもたらし、現在もお多くの科学技術分野に影響を与え続けていることを教えていただきました。また、研究活動をうまく進めるためには、広く海外に目を開き、自由に世界中の研究者とコミュニケーションをとり、共同で進めていく必要があることも講師の先生の体験から説明していただきました。講義の後、生徒は英語で質問をし、英語とその日本語訳でお答えいただきました。

<生徒の感想から>

バイオフィームというものをほとんど聞いたことがなかったが、今回の講義でよくわかった。
身近なものだとは思わなかったのだが、病気にも関わると聞いて驚いた。
今回の講義は英語とその日本語訳で行われたが、すごく自分のためになった。
兼松先生もおっしゃっていたが、英語をたくさん聞き、基礎を大事にしようと思った。
今回の講義は本当に興味深かった。ありがとうございました。

